



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3184 URL http://www.icda.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)黒田 悟郎 (TEL) (059) 381-5540
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,263	△1.9	150	△57.8	155	△53.0	90	△51.3
26年3月期第2四半期	11,486	—	356	—	329	—	185	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 103百万円 (△46.0%) 26年3月期第2四半期 192百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	43.09	—
26年3月期第2四半期	94.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,237	3,820	26.0
26年3月期	14,115	3,765	26.4

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,704百万円 26年3月期 3,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,016	△6.6	688	△34.9	649	△34.8	406	△26.8	193.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	2,100,000株	26年3月期	2,100,000株
27年3月期2Q	31株	26年3月期	31株
27年3月期2Q	2,099,969株	26年3月期2Q	1,957,180株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成26年12月5日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。なお、当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果等により、企業収益の改善や設備投資の増加等により景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら消費税率の引き上げ等により個人消費を取り巻く環境は落ち込んでおり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

自動車販売業界においては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加え、消費マインドの低下等により、4月以降の販売実績の減少が続いており、回復が遅れております。

このような状況下、当社グループは積極的に設備投資を行い、お客様に向けて商品やサービスの付加価値を最大化するバリューチェーンビジネスを展開してまいりましたが、消費税増税後の物価上昇に伴う実質所得低下による買い控え等により、売上高は112億63百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は1億50百万円(前年同期比57.8%減)、経常利益は1億55百万円(前年同期比53.0%減)、四半期純利益は90百万円(前年同期比51.3%減)となりました。

セグメント毎の状況は以下の通りであります。

①自動車販売関連事業

当セグメントにおきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減により、新車販売台数は前年同期比3.8%減の2,617台となり、中古車販売台数は前年同期比11.6%減の4,101台となりました。また、オークション市場の価格低迷により、中古車の収益が悪化いたしました。さらに、新店舗(ホンダカーズ三重北四日市松本店・POINT⑤四日市松本店)のオープン及び店舗リニューアル(アウディ三重四日市)による設備投資の増加がありました。これらの結果、売上高は109億40百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益(営業利益)は2億36百万円(前年同期比44.6%減)となりました。

②自動車リサイクル事業

当セグメントにおきましては、販売台数の減少により下取車等が減少した事で、使用済自動車の入庫が前年同期比4.5%減の3,126台となり、生産台数(再資源化处理)は前年同期比2.5%減の3,950台となりました。この結果、売上高は3億22百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益(営業利益)は59百万円(19.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1億22百万円増加し、142億37百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少5億38百万円、商品及び製品の増加2億91百万円、建物及び構築物の増加3億22百万円等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より68百万円増加し、104億17百万円となりました。これは主に、借入金の増加9億71百万円、買掛金の減少5億95百万円、未払法人税等の減少1億75百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より54百万円増加し、38億20百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上90百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の減少、少数株主持分の増加79百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は7億56百万円(前年同期比33.1%減)となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は6億7百万円(前年同期は1億75百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1億60百万円、減価償却費3億11百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加額62百万円、仕入債務の減少額5億95百万円、法人税等の支払額2億20百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億74百万円(前年同期比77.9%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9億5百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は9億43百万円(前年同期は1億37百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金の増加額8億円、長期借入れによる収入6億50百万円、少数株主からの払込みによる収入79百万円等による資金の増加と、長期借入金の返済による支出4億78百万円、配当金の支払額1億4百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、現段階で入手可能な資料に基づき通期の業績を検討した結果、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、平成26年11月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が25,123千円増加し、利益剰余金が16,305千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,364,430	826,419
受取手形及び売掛金	355,984	342,268
商品及び製品	2,477,776	2,769,683
仕掛品	2,765	3,458
原材料及び貯蔵品	45,761	22,032
その他	287,822	363,231
貸倒引当金	△4,199	△4,340
流動資産合計	4,530,341	4,322,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,090,049	3,412,466
土地	4,696,465	4,696,465
その他（純額）	917,213	936,278
有形固定資産合計	8,703,728	9,045,209
無形固定資産	70,901	70,532
投資その他の資産	810,103	799,319
固定資産合計	9,584,733	9,915,061
資産合計	14,115,074	14,237,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,977,290	1,381,546
短期借入金	3,399,839	4,203,177
未払法人税等	228,866	53,411
賞与引当金	149,595	152,200
その他	1,206,790	1,025,611
流動負債合計	6,962,382	6,815,947
固定負債		
長期借入金	2,624,855	2,793,507
役員退職慰労引当金	241,207	248,061
退職給付に係る負債	471,959	511,194
その他	49,033	48,746
固定負債合計	3,387,056	3,601,510
負債合計	10,349,439	10,417,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	1,406,023	1,375,210
自己株式	△57	△57
株主資本合計	3,716,036	3,685,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,299	20,161
退職給付に係る調整累計額	△688	△553
その他の包括利益累計額合計	13,611	19,608
少数株主持分	35,987	115,525
純資産合計	3,765,635	3,820,357
負債純資産合計	14,115,074	14,237,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,486,208	11,263,112
売上原価	9,209,808	9,217,358
売上総利益	2,276,399	2,045,754
販売費及び一般管理費	1,919,716	1,895,373
営業利益	356,683	150,380
営業外収益		
受取賃貸料	6,028	6,000
受取負担金	—	35,008
受取保険金	8,724	2,820
その他	10,144	8,576
営業外収益合計	24,897	52,405
営業外費用		
支払利息	44,053	37,171
その他	7,767	10,496
営業外費用合計	51,820	47,667
経常利益	329,760	155,118
特別利益		
持分変動利益	—	5,400
受取保険金	49,978	—
特別利益合計	49,978	5,400
特別損失		
和解金	49,998	—
特別損失合計	49,998	—
税金等調整前四半期純利益	329,740	160,518
法人税、住民税及び事業税	128,649	46,970
法人税等調整額	8,928	15,595
法人税等合計	137,578	62,565
少数株主損益調整前四半期純利益	192,162	97,952
少数株主利益	6,254	7,461
四半期純利益	185,907	90,490

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	192,162	97,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	5,862
退職給付に係る調整額	—	38
その他の包括利益合計	124	5,900
四半期包括利益	192,287	103,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,032	96,487
少数株主に係る四半期包括利益	6,254	7,365

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	329,740	160,518
減価償却費	287,188	311,658
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,599	2,604
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,606	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	14,170
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,677	6,853
受取利息及び受取配当金	△2,766	△2,727
支払利息	44,053	37,171
持分変動損益 (△は益)	—	△5,400
受取保険金	△49,978	—
和解金	49,998	—
売上債権の増減額 (△は増加)	42,508	13,716
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△139,802	△62,769
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,330	△595,743
その他	△128,407	△231,799
小計	467,747	△351,746
利息及び配当金の受取額	2,766	2,727
利息の支払額	△44,529	△37,613
保険金の受取額	49,978	—
和解金の支払額	△49,998	—
法人税等の支払額	△250,866	△220,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,097	△607,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	75,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△470,160	△905,809
投資有価証券の取得による支出	△2,396	△22,343
その他	△18,737	54,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△491,294	△874,063
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△191,800	800,000
長期借入れによる収入	—	650,000
長期借入金の返済による支出	△370,522	△478,010
配当金の支払額	△90,150	△104,741
少数株主への配当金の支払額	△1,170	△1,552
株式の発行による収入	519,156	—
少数株主からの払込みによる収入	—	79,125
その他	△2,684	△1,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,170	943,294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△453,367	△538,010
現金及び現金同等物の期首残高	1,583,582	1,294,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,130,214	756,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社は、平成25年6月26日を払込期日とする有償一般募集増資による払込を受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金及び資本剰余金がそれぞれ259,578千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,161,078千円、資本剰余金が1,148,992千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,159,422	326,786	11,486,208	—	11,486,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,533	16,816	26,349	△26,349	—
計	11,168,955	343,602	11,512,557	△26,349	11,486,208
セグメント利益	426,763	74,083	500,846	△144,163	356,683

(注) 1. セグメント利益の調整額△144,163千円には、セグメント間取引消去1,153千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,317千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,940,366	322,746	11,263,112	—	11,263,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,280	13,044	25,324	△25,324	—
計	10,952,646	335,791	11,288,437	△25,324	11,263,112
セグメント利益	236,321	59,793	296,114	△145,733	150,380

(注) 1. セグメント利益の調整額△145,733千円には、セグメント間取引消去1,785千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△147,519千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。